

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



ワクチンに国の助成を！

ヒブ・肺炎球菌・子宮頸ガンをなくそう



左一人目が発言する成宮まり子参議院選挙区候補

日本共産党京都府委員会は、今、救える命が失われている問題について、ワクチン問題専門家の耳原病院の武内一医師やご自分の子どもが後遺障害を持たれている「守る会」の田中美紀さん等の参加でシンポジウムを開きました。

死亡率5%、後遺症の残る立20%と言われる細菌性髄膜炎に対するワクチンは、世界の七カ国で承認され、国の責任として定期接種化した国々では「細菌性髄膜炎は過去の病」となっていて、アメリカでは発症率が約百分の一に激減していますので、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンで防ぐことが出来ます。

世界保健機構(WHO)は無料接種を推奨しています。

日本では、ヒブワクチンが08年によくやく接種が認められました。が有料で、4回接種で3万円もかかります。

また子宮頸ガンは、日本の20歳代の女性では、発症率が最も高く年間一万五千人が発症し、約三千五百人が命を落とされています。10歳代の女性へのワクチン接種が効果的ですが、3回接種で4万円、6万円もかかります。どちらのワクチンも公費負担が必要です。国に対して声をあげて行きましょう。

【寄稿】

醍醐散策

石田
「力くらべ石」

二月となれば醍醐の五大力尊仁王会で、男150kg、女90kgの餅上げ力奉納が有名で、勝者には持上げた餅が振舞われるという行事で夙(つと)に有名です。この勝者になるには塾までがあって常に鍛錬が養成されているとか。石田の「力くらべ石」も並みの素人では挙げられず、挙げられる大力者でもパフォーマンス(危険と背中併せ)まではたどりつかなかったと思いますが、如何でしょうか。

(この記事では上田利一さん、親男さんの奥さん、林さん、奥吉さんと聞き書きでしたが、石は現存しています是非実見して下さい。)



終わり

灰溶融炉

ダイオキシン問題学習会

6月3日に山科区の大宅診療所をお借りして、今大問題になっている「灰溶融炉のダイオキシン問題」について、西野市議は「京都市に焼却灰溶融炉は必要か」と題して、報告を行いました。参加者からは、

「排水は本当に下水には流れて無いの？」

「原因は？」

と不安の声が出されました。

